表7-1 平成19年度 飼養区分頭数の異動

(1) ホルスタイン種

区分	年度始	生産	死亡	淘汰	区分替出 入	年度末
経産牛	27		$1^{1)}$	10	10	26
若牛	7				6 7	7
育成牛	11				11 8	8
仔雌牛(H)	3	11	$1^{2)}$	1	8	4
仔雌牛(F1)		7	1 ³⁾	5		1
小計	48	18	3	16		46
種雄牛						0
成雄牛						0
若雄牛						0
育成雄牛						0
仔雄牛(H)	1	9		10		0
仔雌牛(F1)		3		3		0
小計	1	12	0	13		0
合計	49	30	3	29		46

1)大腿骨骨折 2)死産 3)死産

(3)日本短角種

	区分	年度始	生産	死亡	淘汰	区分出	→ 替 入	年度末
	経産牛	32			9		6	29
雌	若牛	15(4)		1	5(4)	6	6	9
	育成牛	7			1	6	4	4
	仔牛	0	18	1	13	4		0
	計	54(4)	18	2	19			42
	種雄牛	1						1
	成雄牛	0						0
雄	若牛	6(6)			6(6)		10	10(10)
	育成牛	10				10	10	10
	仔牛	0	14		4	10		0
	計	17(6)	14		10			21
	合計	71(10)	32	2	29			63(10)

()内は肥育頭数を表す。

区分の基準

経産牛: 18ヶ月以上で分娩済み。

成雄牛: 18ヶ月以上で種雄牛候補牛。 若 牛: 雌は18ヶ月以上分娩まで、雄は去勢済みで18ヶ月以上。

育成牛:6ヶ月~18ヶ月未満。 子 牛: 出生より6ヶ月未満。

(2)黒毛和種

\-/·	20点七个位在									
	区分	年度始	生産	死亡	淘汰	区分出	分替 入	年度末		
	経産牛	48		1	15		3	35		
雌	若牛	8			1	3	10	14(2)		
иμ	育成牛	11			1	10	11	11		
	仔牛	3	23	2	11	11		2		
	計	70	23	3	28			62(2)		
	種雄牛	1						1		
雄	若牛	18(18)			12(12)		14	20(20)		
Иμ	育成牛	14				14	16	16		
	仔牛	4	22		7	16		3		
	計	37(18)	22		19(12)			40		
	合計	107(18)	45	3	47(12)			102(22)		

()内は肥育頭数を表す。

(4)緬羊種

	区分	年度始	生産	導入・ 購入	管理換	死亡	淘汰	区出出	入	年度末
	経産羊	38			0	5		7	7	38
雌	若羊 育成羊	17			3	3 4	3	17	17 22	21 0
	仔羊	17	8					22		3
	計	72	8		3	12	3			62
	種雄羊	3				1	1			1
雄	若羊	6			6					8
丛 土	成雄羊				2	1	3	8	8	0
	仔雄羊	9	13		5	1		14	10	2
	計	18	13		13	3	4			11
	合計	90	21		16	15	7			73

(5)日本鹿(H20/3/31まで)

(0)	07 H / 1/20 (1100) 07 01 55 C /									
	区分	年度始	生産	導入· 購入	死亡	淘汰	区分出	分替 入	年度末	
	経産鹿	13			1			3	15	
ıll#	若鹿	3					3	1	1	
雌	育成鹿	1					1	2	2	
	仔鹿		3		1		2		0	
	計	17	3		2				18	
	種雄鹿	1							1	
雄	成雄鹿	9					9	2	11	
瓜王	育成雄鹿	2					2	2	2	
	仔雄鹿		3		1		2		0	
	計	12	3		1				14	
	合計	29	6		3				32	
	7/1. / 1 1 1 -	- [/) - } -7	-T-127							

注()は事故による頭数